

令和2年8月11日

報道機関 各位

長崎大学病院で職員等を対象とした

新型コロナウイルス感染症に係る実態調査を実施

長崎大学病院（病院長 中尾一彦）は7月、長崎大学病院に勤務する職員等に対して、新型コロナウイルス感染症関連の誹謗中傷等の有無に関する実態調査を実施しました。

この調査は、本院関係者（実習生、入院患者、医療従事者）3名の新型コロナウイルス感染症の感染が判明した7月上旬から、本院職員が他者からの言動に心を痛めているとの声が多数届くようになったことを受けて、病院として職員を守ることを目的として実態を把握するために行ったものです。

【新型コロナウイルス感染症に係る実態調査の概要】

1. 対象者：長崎大学病院で勤務する職員、委託業者スタッフ等
2. 実施期間：2020年7月14日（火）～7月22日（水）（9日間）
3. 実施方法：匿名、Web上で回答
4. 調査項目等：別紙参照

【調査トピックス】

- ① 回答総数1,377件（そのうち職員からの回答は1,226件、回収率：約47%）【図1】
- ② 職員約2割が風評被害を実感【図2】
- ③ 被害を受けた割合は、看護師（25%）、医師・歯科医師（23%）、メディカルスタッフ（18%）と、患者さんと近くで接する職種ほど高い【図2】
- ④ 最も多いのは「接触を避けられた」、次に「受診等の拒否」。時期は7月に急増【図3・4】
- ⑤ 周りの言動がたとえ悪気のない言葉や態度であったとしても、職員をはじめ家族までもが大きなストレスを感じていることが伺える

【病院長コメント】

すべての医療従事者は、新型コロナウイルス感染症をはじめ様々な病気から患者さんを守るために日々骨身を削って働いています。特に、新型コロナウイルス感染症が県内で発生してからは、職務上のプレッシャーが増しており、今回の調査からも、日々の何気ない言葉のやり取りや行動に敏感になっている様子が伺えました。医療従事者が安心して働けるよう、偏見や差別をなくし、ぜひ応援する気持ちで見守ってください。また、感染者やその家族に対しても心ない言葉や偏見がないよう、本院でも積極的に院内外に呼びかけていきたいと思っております。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学病院総務課（広報・評価）高藏

電話：095-819-7790

メール：mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp

新型コロナウイルス感染症に係る実態調査の実施状況

■実態調査の概要

1. 対象者：長崎大学病院で勤務する職員、委託業者スタッフ等
2. 実施期間：2020年7月14日（火）～2020年7月22日（水）（9日間）
3. 実施方法：匿名、Web上で回答
4. 調査項目：① 職種
 - ② 風評被害等の実感の有無（本人・家族、職場の同僚等まわりの方）
 - ③ 項目②の具体的な事例
 - ④ 項目③を実感した時期
 - ⑤ 現在、新型コロナウイルス感染症に関連して困っていること

■実態調査の回答状況

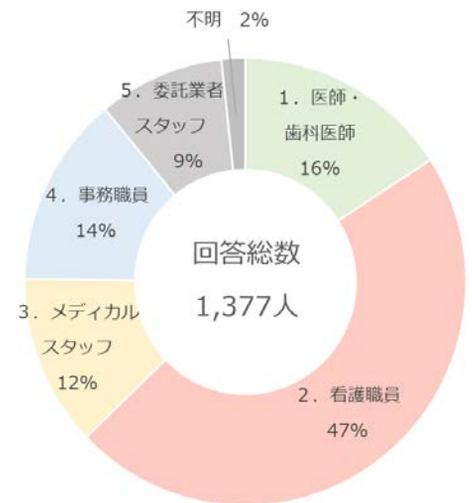
回答総数は 1,377人

※うち職員の回答は 1,226人

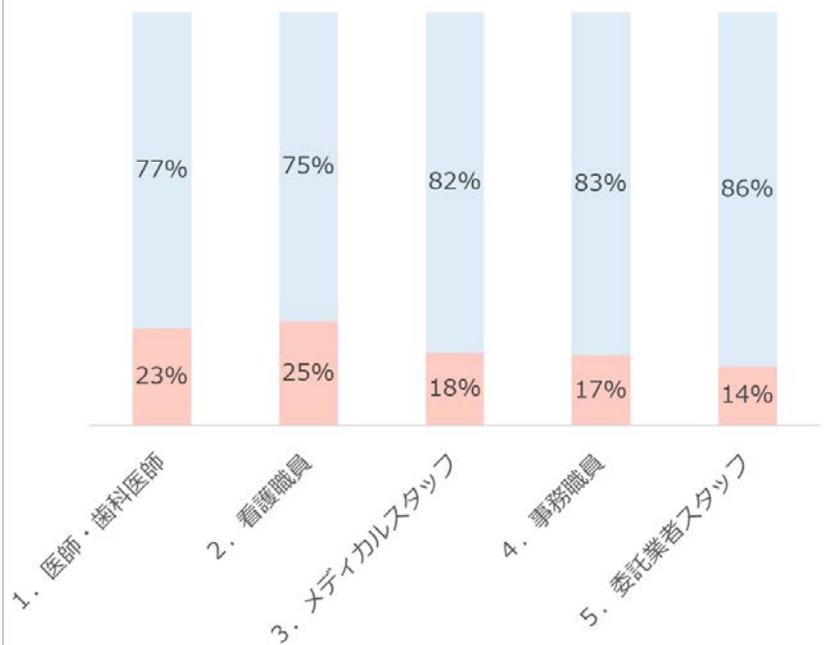
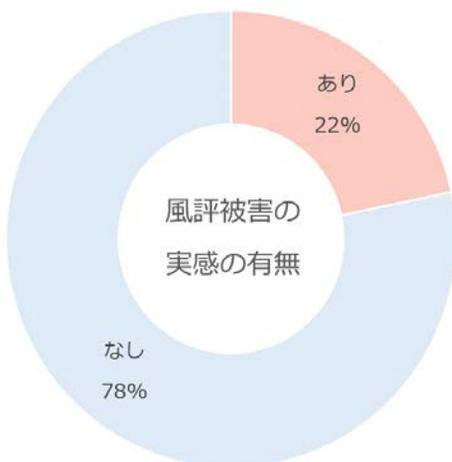
病院で勤務する職員は 約2,600人

アンケートの回収率は 約47%

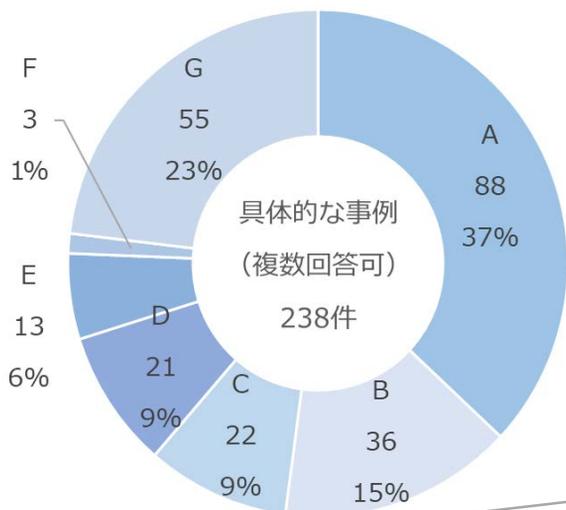
① 職種 【図1】



② 風評被害等の実感の有無（本人・家族、まわりの方） 【図2】



③ 風評被害等の具体的な事例（本人・家族） 【図3】

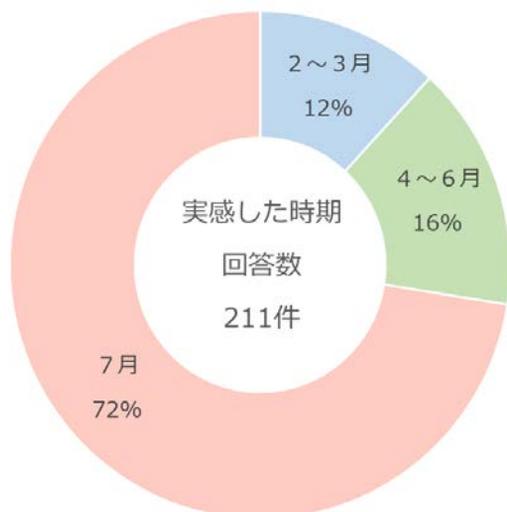


- A. 接触を避けられた。
- B. 長崎大学病院関係者という理由により医療機関・介護施設等の受診・利用・面会等を断られた。
(もともと全面的に面会等を禁止している場合は除きます。)
- C. お子さんが学校、保育園等の登校、登園等を止める、又は、自粛するよう要請された。
- D. ご家族が職場等の出勤を止める、又は、自粛するよう要請された。
- E. メール、SNS投稿等により誹謗中傷を受けた。
- F. 上記の理由で家族等のお世話が必要となり、本人・ご家族が休暇を取って対応した。
- G. その他（自由記載）

G. その他（自由記述）より一部抜粋

- ・長崎大学病院に勤務していると知っている人達から「仕事に行ってるのか」聞かれるLINEなどでも聞かれ、行っているという、行って大丈夫なのかを問われる心配を含むものもあるが、聞かれすぎて疲れた
- ・風評被害まではいかないですが、子供の習い事や学校の友達から「お母さんは大丈夫？」と聞かれ、子供が学校にいったいいのか不安になっている
- ・近所の人が「長大の人が周りに住んでたら嫌だ」と言っているのを聞いた
- ・美容院から来店を断られた

④ 風評被害等を実感した時期（本人・家族） 【図4】



7月に入り、当院関係者（実習生、入院患者、医療従事者）3名の新型コロナウイルス感染症の感染が判明したこともあり、当院職員が他者からの言動に心を痛めているという声が多数届くようになった。

そのため、病院として職員を守るための行動が出来ないかと検討し、院内アンケートにより実態調査を実施することとしたが、調査結果からもその実態が確認できた。

⑤ 新型コロナウイルス感染症に関連して困っていること（自由記述）より一部抜粋

- ・自分自身は何か言われたとしてもある程度耐えうるとは思っているが、今後、子供たちが何か言われたり、不利益を被ることがあるのではないかとこのことを危惧している。
- ・子供が、イヤな思いまでして働かないといけないかと悩んだ。自分はよくても、子どもに迷惑やイヤな思いまでさせたくない。その時は、仕事を辞める覚悟である。
- ・介護があるため介護サービスがこのまま受けられなければ仕事を続けることが困難になる。
- ・長崎大学病院勤務というだけで過剰に反応されるようになりました。
- ・出勤と退勤が満員バスの為、3密を避ける事が出来ない。
- ・現在は大丈夫ですが、子供や両親が本当に被害を受けていないか心配です。子供にはショックを和らげるため、大学病院関連でコロナが発生したことで、心ない言葉を受ける可能性があることは、あらかじめ伝えました。子供が被害にあったら、黙っていません。他者から色々勘繰られたくないので、私も他人との接触は極力避けています。医療従事者の自覚は、大切ですが、自分だって旅行に行きたいし、カラオケに行きたいし…外食もしたい。それを自由にやっている人たちが、感染してその看護をする…自己で色々自粛しているにも関わらず、医療者に感染者がでると、心無い風評被害を受ける…医療者ってなんなんでしょう…便利屋ですか…
- ・気を付けていても感染リスクが恒常的にあることから心身の疲労度が高いのが現状です。さらに家族に感染させてしまうリスクもあるため、定期的な検査を受けることができるような体制を作ってほしい。
- ・感染者が社会復帰した時も、疎外感を持たないように、注意喚起をしていく必要がある。
- ・今のところ、子どもの学校、保育園も理解してくださり、問題ありません。子どもの親御さんからの心配メールをもらった際、自分の部署に接触患者、スタッフがいないことは伝えてますが、相手が色々情報を知りたがっていることを感じ、対応に困ることがあります。報道以上の情報を話さないよう注意していますが、正直どこまで報道されているのかわからない現状があります。
- ・全国的に医療従事者への風評被害、偏見が報じられていることや、ニュースサイトのコメント欄にも、医療従事者に対して心無い書き込みを目にする機会が多々あり、見ることも辛いですし、いつか自分が批判の対象となるのではと考えると、非常に不安に思います。
- ・親しい知人から報道が出る度に大学病院の非難をされている。
- ・医療者に感謝していると言った言葉もありますが、現実には厳しいものだな。と痛感しております。必要なときに必要な医療を受けられない状況、生活での必要以上の制限は辛い。
- ・家族や家族の同僚から頻繁に長大での感染者について話を出されて気疲れしています。

■以下の2件は、嬉しい声です。

- ・自身が子供たちが風評被害で困ることがあるのではと心配していたが、中学校の道徳でそのようなことがないように医療従事者に感謝するということを学んだと聞いた。疲弊している中で、嬉しい情報だった。
- ・保育園で「大変ですね」や迎えが遅くなると「今は大変だから大丈夫ですよ。お母さんが体を壊さないようにしてくださいね」と園長先生自ら声をかけてくださいます。